

## 平成28年8月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	H28年8月 数量 (トン)	H28年8月 平均単価 (円)	前年同月比 数 量	前年同月比 平均単価
1	野 菜	人 参	北海道産の販売でした。6月から続く曇天の影響や台風の影響などにより、生育不良で数量減になりましたが、高値の昨年よりも単価安でした。	554	147	89%	93%
2		キャベツ	群馬県孺恋産が中心でした。他に長野県産・山梨県産・青森県産・岩手県産・北海道産が出回りました。やや大玉傾向で、前半は価格低迷苦戦で、後半にやっと動いてきました。	718	75	96%	72%
3		トマト	北海道・青森県産・福島県産中心の入荷でした。7月に遅れた分、8月は順調な入荷となりました。	679	256	108%	96%
4		なす	群馬県産・栃木県産の関東産と福島県産中心の入荷でした。昨年と比べて大きな天候の崩れもなく、順調な入荷となりました。	160	229	112%	100%
5		たまねぎ	府県産の不作と北海道の天候不順により、入荷量が激減しました。	502	173	66%	147%
6	果 実	西 瓜	山形県産・秋田県産の悪天候により、8月前半は高単価となりました。盆以降は大きく値を下げました。また、後半は傷みの為、入荷減となりました。	570	156	68%	102%
7		デラ	山形県産・山梨県産ともに前進出荷及び天候不順の為、入荷数量が減となりました。	15	593	70%	102%
8		幸 水	茨城県産・千葉県産・栃木県産・福島県産中心の販売でした。順調な入荷でした。	415	329	99%	101%